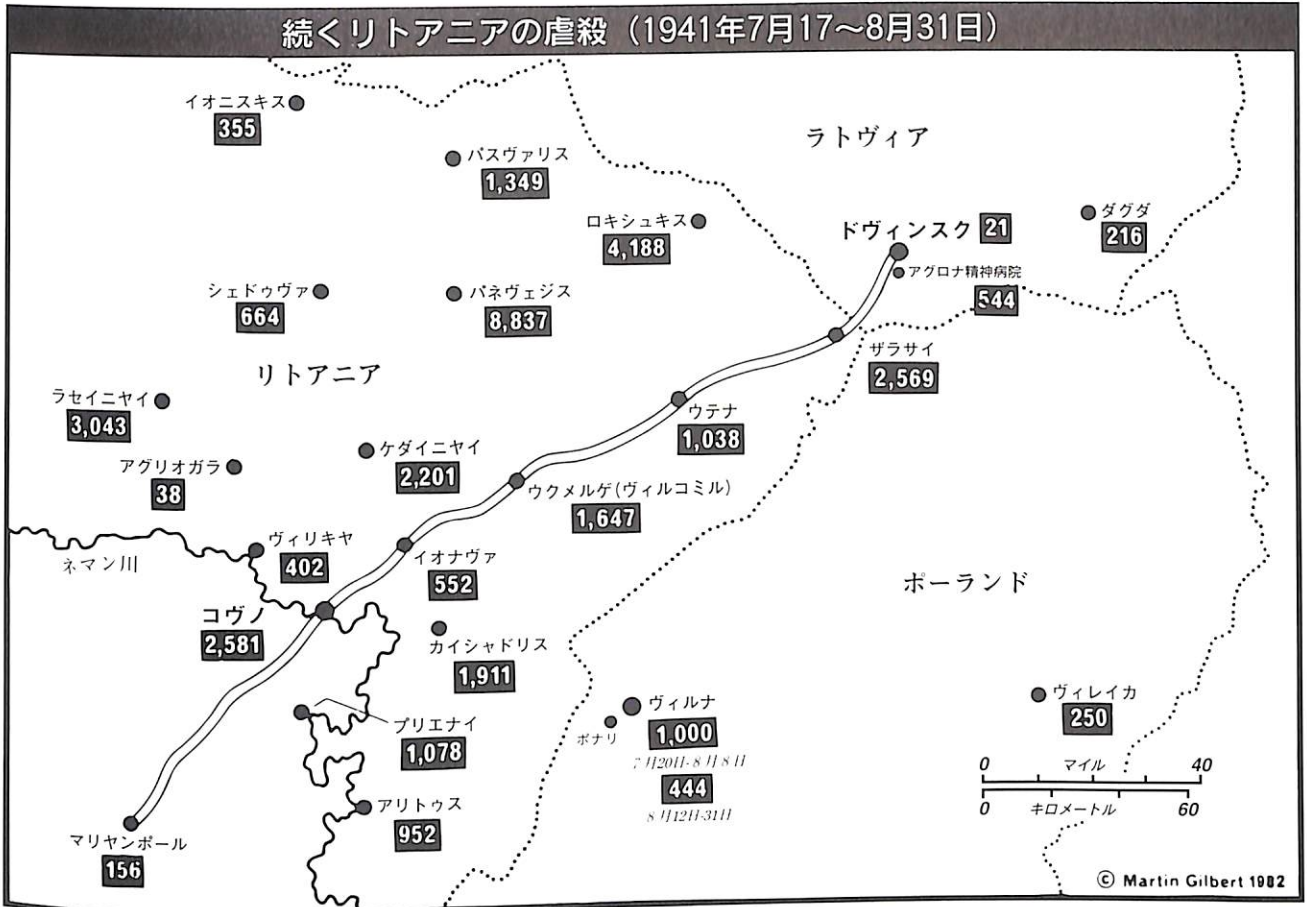
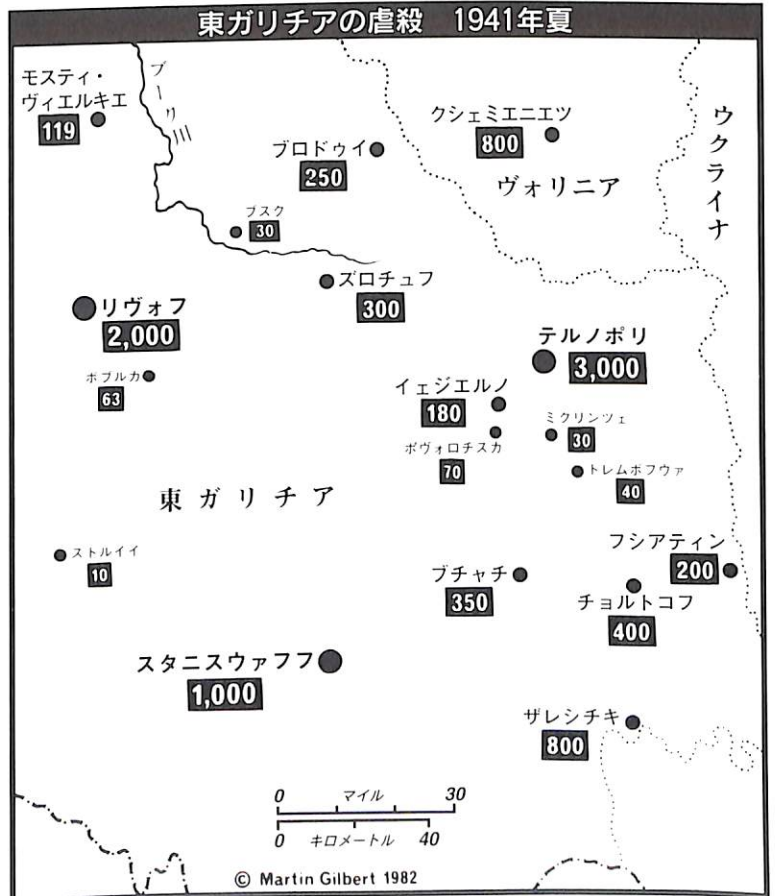


続くリトアニアの虐殺 (1941年7月17~8月31日)



ニア軍の進撃域で、数千人のユダヤ人を虐殺した。東ガリチアでは全域で、ドイツの抹殺隊が来る前から、ウクライナ人農民がユダヤ人襲撃を繰り返し、沢山の人を殺していた。大規模な虐殺を行なったのは、言うまでもなくドイツの移動抹殺隊である。その手始めが、1941年7月17日から31日まで(71頁参照)、キシニョフで起きたアインザッツグルッペDによる第1次虐殺であった(地図78)。第2次虐殺は8月27日から28日にかけて起きたが、その時はハンガリーからカメネツ・ポドルスキへ移送されていたユダヤ人が皆殺しにされた。このユダヤ人達は、ハンガリー国籍をもたず、1938年から39年にかけてドイツ、オーストリア、スロヴァキアおよびポーランドからハンガリーとルテニアへ逃けた難民であった。ハンガリーでは、偽造の身分証明書を持ち、“アーリア人”として通す者や、パレスチナへ行く途次のトランジット旅行者として、ハンガリー滞在権を得た者もいた。7月に狩り込みが行なわれ、1万8000人以上が東方へ移送されて、カメネツ・ポドルスキとその周辺のキャンプに収容された。1941年8月27日、重武装のSS隊がウクライナ人民兵の支援をうけ、収容者のうち1万4000人を10マイルほど離れた爆撃跡地へ徒歩で連行した。そして爆撃孔のまわりで衣服を脱ぐように命じた後、機銃を撃ち始めた。生き埋めにされた者も多い。

東ガリチアの虐殺 1941年夏



# ホロコースト歴史地図

## 1918-1948

マーチン・ギルバート 滝川義人[訳]



# ATLAS OF THE HOLOCAUST

